

## ごあいさつ

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟  
会長 表 孟 宏



皆様におかれましては、希望に満ちた平成28年のスタートをされ、28年度のシーズンが待ち遠しいことと、推察申し上げます。

昨年は、インド、ニューデリーで開催された第15回世界ソフトテニス選手権大会で男子代表チームが国別対抗で2大会ぶり、7回目の優勝を遂げることが出来ました。今年のアジア選手権大会ではさらに良い結果を出すべく、選手の競技力強化に努めてまいります。

平成28年度は当連盟の5か年計画である「ソフトテニ

ス長期基本計画2012」の最終年となります。「ソフトテニスの普及振興事業」、「ソフトテニスの競技力向上事業」、「ソフトテニスの国際振興事業」を3本柱とした計画の実現に向けてそれぞれの事業を着実に推進するとともに、次の長期基本計画を策定してまいります。

また、当連盟は引続きソフトテニスを通じて環境保全を図っていくとともに、自己責任及びフェアプレーの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図っていきます。「環境宣言『来た時よりも美しく』フェアプレー精神『ありがとう あなたの笑顔とそのマナー』」の横断幕の大会での掲示、プログラムへの掲載を通して、環境とマナーの向上を図ります。

より一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

## 第15回 世界ソフトテニス選手権大会

### 男子国別対抗戦 優勝

<男子ダブルス> 3位 小栗・高月、増田・船水(颯)



<日本男子チーム>

監督 齊藤 広宣  
コーチ 中堀 成生  
トレーナー 川上 晃司  
選手 長江 光一、増田 健人、高月 拓磨、  
小栗 元貴、船水 雄太、船水 颯

### 女子国別対抗戦 準優勝

<女子ダブルス> 2位 森田・山下 3位 加瀬・脇田



<日本女子チーム>

監督 田中 弘  
コーチ 高川 経生  
トレーナー 吉川 友巳奈  
選手 山下 ひかる、脇田 愛、小林 奈央、  
加瀬 祐佳、森田 奈緒、平久保 安純

## 平成27年度 第70回天皇賜杯・皇后賜杯全日本選手権大会 優勝者

男子優勝 篠原 秀典(日体桜友会)  
小林 幸司(ミスノ)



女子優勝 森田 奈緒(ヨネックス)  
山下 ひかる(ヨネックス)



平成27年度 各層の全日本チャンピオン

大会名	男子		女子		
全日本小学生選手権大会	武市大輝・小松隼士	下松ジュニアクラブ(山口)	五十嵐美結・比留間あい	高松ジュニアクラブ・世田谷ジュニアクラブ(東京)	
全国中学校大会	北野亮介・鈴木竜弥	西郷村立西郷第一中学校(福島)	竹田真樹・中野 舞	姫路市立大津中学校(兵庫)	
全国高校選手権大会	内本隆文・丸山海斗	上宮(大阪)	笠井佑樹・鈴木梨沙	和歌山信愛(和歌山)	
全日本学生選手権大会	安藤優作・安藤圭祐	早稲田大学(学連)	杉脇麻侑子・上原由佳	早稲田大学(学連)	
全日本学生選手権大会(シングルス)	船水雄太	早稲田大学(学連)	平久保安純	早稲田大学(学連)	
全日本社会人選手権大会(一般)	村上雄人・中本圭哉	NTT西日本広島(広島)	北浦有華・松本英里佳	ワタキューセイモア(京都)	
全日本社会人選手権大会(成年)	濱口 昇・今村義美	名古屋アカエムクラブ(愛知)・なかよしクラブ(香川)	高井志保・吉崎香奈絵	吹田クラブ(大阪)・B-JOKER(京都)	
全日本選手権大会	篠原秀典・小林幸司	日体桜友会(東京)・ミズノ(東京)	森田奈緒・山下ひかる	ヨネックス(京都)	
全日本シングルス選手権大会	船水颯人	早稲田大学(学連)	小林奈央	早稲田大学(学連)	
全日本シニア選手権大会	45	中島通晴・浪越淳文	浜松市役所(静岡)・新星クラブ(山梨)	宮尾真由美・鈴木節子	所沢ペアート(埼玉)・日亜化学工業(東京)
	50	千野一也・堀越晴夫	甲府市役所(山梨)・板橋倶楽部(東京)	鈴木明美・江口京子	長岡レモンクラブ(新潟)・川口クラブ(埼玉)
	55	新沼宏之・石田 肇	浦和あづまクラブ(埼玉)・新日鏡八幡(福岡)	安達伸子・江利角富美子	スポーツマンシップ(大分)
	60	沼田義雄・白石宅男	宇土クラブ(熊本)・帯山クラブ(熊本)	高橋道子・金野英子	所沢ペアート(埼玉)・ふじみ野OTA(埼玉)
	65	袴田文雄・菅野勝郎	能代支部(秋田)・陸前高田市協会(岩手)	小谷苑子・夏原麗子	葛飾クラブ(東京)・浦安会(千葉)
	70	木藤勝敏・熊田章甫	大阪OB軟庭会(大阪)・TEAM KUMA(岐阜)	鎌田寛子・杉内昭代	愛媛県レディース協会(愛媛)・徳島庭球倶楽部(徳島)
	75	野間 浩・関屋博美	新日鏡八幡(福岡)・たいこうクラブ(福岡)	喜利ミナ子・加藤鈴子	洛西クラブ(京都)・EFTクラブ(京都)
	80	若林博之・中野雅文	三木クラブ(兵庫)・宝塚クラブ(兵庫)	大久保初子・関 寿子	すみれクラブ(愛知)・寿美礼倶楽部(東京)

平成28年度ナショナルチームメンバー

【男子】		【女子】	
監督 齊藤 広直	松戸市役所	監督 田中 弘	田中企画
コーチ 中堀 成生	NTT西日本広島	コーチ 高川 経生	ヨネックス
トレーナー 川上 晃司	スポーツインテリジェンス	トレーナー 吉川友巳奈	ゆらく接骨院

選手 小栗 元貴	東邦ガス	選手 森田 奈緒	ヨネックス
高月 拓磨	ヨネックス	平久保安純	早稲田大学
船水 雄太	早稲田大学	柿崎あやの	ヨネックス
長江 光一	NTT西日本広島	小林 美咲	どんぐり北広島
増田 健人	和歌山県庁	森原 可奈	東芝姫路
篠田 章平	同志社クラブ	徳川 愛実	タカギセイコー
篠原 秀典	日体桜友会	小谷菜津美	ダンロップ
小林 幸司	ミズノ	神谷絵梨奈	ヨネックス
中本 圭哉	NTT西日本広島	原野 亜衣	ダンロップ
丸中 大明	中央大学	深澤 昭恵	東芝姫路
水澤 悠太	NTT西日本広島	佐々木聖花	早稲田大学
井口 雄介	スマッシュイグチクラブ	中川 瑞貴	ナガセケンコー
桂 拓也	和歌山県庁	北浦 有華	ワタキューセイモア
鈴木 琢己	中央大学	松本英里佳	ワタキューセイモア
船水 颯人	早稲田大学	木村 理沙	早稲田大学
九島 一馬	早稲田大学	大槻 麗	ダンロップ
上松 俊貴	岡山理科大学附属高校	富田 真愛	どんぐり北広島
村上 雄人	NTT西日本広島	上原 由佳	早稲田大学
星野 慎平	早稲田大学	黒木瑠璃華	ヨネックス
内本 隆文	上宮高校	杉脇麻侑子	早稲田大学
丸山 海斗	上宮高校	尾上 胡桃	日本体育大学
安藤 優作	早稲田大学	泉谷 朋香	東芝姫路
安藤 圭祐	早稲田大学		

平成28年 全日本U-20チームメンバー

【男子】		【女子】	
監督 中津川遼男	東北高校	監督 小峯 秋二	高岡西高校
コーチ 浅川 陽介	HY-PROJECT	コーチ 伊加 英隆	尽誠学園高校
トレーナー 深間内 誠	鈴鹿回生病院	トレーナー 高川 亜紀	日域整形外科

選手 村田 匠	日本体育大学	選手 笠井 佑樹	和歌山信愛高校
永井 宏典	東北高校	鈴木 梨沙	和歌山信愛高校
因 京将	能登高校	生田 達夏	神戸松蔭女子学院大学
中平 慎吾	尽誠学園高校	下田 夢奈	宇土市役所
伊藤 幹	慶応義塾大学	元村 華楠	中村学園女子高校
米澤 要	能登高校	黒田 麻衣	和歌山信愛高校
宮田 裕章	太平洋工業	山根 健乃	須磨学園高校
丸岡 俊介	明治大学	小山 舞	和歌山信愛高校
立木 雅也	明治大学	草野絵美菜	早稲田大学
小田桐康隆	中央大学	那須 暁帆	東京女子体育大学

平成28年 全日本U-17チームメンバー

【男子】		【女子】	
監督 池田 征弘	西城陽高校	監督 高井 志保	履正社医療スポーツ専門学校
コーチ 高橋 茂	清明学園中学校	コーチ 柴田 真弓	秋田西高校
トレーナー 中野 道治	スポーツインテリジェンス	トレーナー 橋本 貴子	スポーツインテリジェンス

選手 溝端 亮二	高田商業高校	選手 笠井 菜々子	広島修道大学附属女子中学校
金子 大祐	高田商業高校	宮下 真緒	文化学園大学杉並高校
北野 亮介	西郷村立西郷第一中学校	上田 理央	文化学園大学杉並高校
鈴木 竜弥	西郷村立西郷第一中学校	竹田 真樹	姫路市立大津中学校
内田 理久	三重高校	中野 舞	姫路市立大津中学校
上岡 俊介	上宮高校	林田 リコ	文化学園大学杉並高校
栗山 比呂	塩田工業高校	吉田 菜里	昇陽高校
山根 稔平	高田商業高校	早川 日向	高岡西高校
田邊 雅人	三重高校	下江 遥花	和歌山信愛高校
塩田 海	尽誠学園高校	中別府瑞希	三重高校
北本 達己	高田商業高校	貝瀬ほのか	和歌山信愛高校
林 湧太郎	静岡県立沼津高等学校	小林 愛美	川口市立芝東中学校
後藤 佳佑	早稲田実業学校高等部	久我奈々子	白鷗大学足利高校
高倉 和毅	早稲田実業学校高等部	福田 麗優	三重高校
三輪 惇平	高田商業高校	小松 芹奈	東北高校
松山 雄磨	鹿兒島高校	土井あんず	三重高校
広岡 宙	上宮高校	黒木 夏穂	中村学園女子高校
本倉健太郎	岡山理科大学附属高校	島津 佳那	千代田学園高校
田中 駿平	上宮中学校	久保 晴華	三重高校
齋藤 大樹	木更津総合高校	浅田 実那	高岡西高校

平成28年 全日本U-14チームメンバー

【男子】		【女子】	
監督 橋本 康徳	京都市立西総合支援学校	監督 安達 和紀	履正社医療スポーツ専門学校
コーチ 松元 誠二	福岡市役所	コーチ 海江田佐奈美	ジョイントクラブ
トレーナー 兼平 智孝	仙台北部整形外科	トレーナー 上田 未来	みなみ整形外科

選手 矢野 颯人	和歌山市立西和中学校	選手 佐古 香織	東海市立加木屋中学校
藤久 雄士	高砂市立荒井中学校	杉山 歌音	広島修道大学附属女子中学校
武市 大輝	下松ジュニアソフトテニスクラブ	五十嵐美結	高松ジュニアソフトテニスクラブ
小松 隼士	下松ジュニアソフトテニスクラブ	鈴木 理奈	青梅市立泉中学校
池口 季将	王寺町立王寺中学校	根岸楓英奈	昇陽中学校
坂本 貴太	延岡市立西階中学校	石井美々花	就実中学校
山中 柊牙	上宮中学校	藤城みちる	東海市立加木屋中学校
西山七海斗	昭和学院中学校	西東 彩葉	川口市立戸塚中学校
中別府 凌	姫路市立大津中学校	吉野 南美	横芝光町立横芝中学校
田中 康文	都城市立高城中学校	赤川友里奈	川口市立戸塚中学校
白川 雄己	松山市立南中学校	白崎ひかる	坂井市立丸岡中学校
渡辺 大凱	江戸川区立上二色中学校	水澤 奈央	胎内市立築地中学校
津田 知紀	松江市立第四中学校	津島 怜奈	益田ジュニアS.T.C
下村 慶樹	佐世保市立広田中学校	伊東 未来	大磯町立大磯中学校
澤田 吉広	酒田市立第三中学校	高松沙也花	能美市立寺井中学校
石川 峻伍	善通寺市立東中学校	浅見今日子	広島修道大学附属女子中学校
荒木 駿	鶴岡市立鶴岡第一中学校	岡田 舞	大村市立小江原中学校
広岡 大河	三田ジュニアクラブ	江頭 明彦	長崎市立小江原中学校
山本 大陸	神戸市立山南中学校	松岡 琴美	聖蹟ジュニアソフトテニスクラブ
片岡 暁紀	和田山ジュニア	濱岡菜々美	聖蹟ジュニアソフトテニスクラブ

# 平成28年度事業計画(平成28年4月1日～29年3月31日)

## I. ソフトテニスの普及振興事業

### 1. ソフトテニス競技規則の制定

- ①競技規則の改訂
  - ・公共施設を活用するにあたり、ソフトテニスとテニスと異なる施設基準となっており、様々な場面で不都合が生じているので、安全性を考慮しつつ施設基準(アウトコート)を共通化するための検討を引き続き行う。
  - ・肩から下までのカットサービスの禁止についての検討を引き続き行う。
- ②ジュニア審判マニュアル(低学年用)の活用
- ③審判検定会・研修会等での資料(パワーポイント)の活用

### 2. 全日本ソフトテニス選手権大会等開催

- (1)国内競技会を大会実施要項に基づき実施する。
  - ①平成28年度大会日程および会場(次ページ参照)
  - ②大会要項の改訂
    - ・全日本シニア選手権大会に混合70を追加
    - ・国民体育大会種別参加チーム数のローテーションを実施する。
- (2)大会の検討と大会運営の改善
  - ①全日本選手権大会
    - ・ランキング第1位大会としての質と規模による参加枠の検討をする。
  - ②新規全日本大会の検討
    - ・全日本社会人団体選手権大会
    - ・実業団・クラブを統合した社会人の団体選手権大会の検討
    - ・全日本団体総合選手権大会
    - ・高校、大学、社会人の代表による全日本団体第1位を決める大会の検討
    - ・全日本混合ダブルス選手権大会(シニア選手権大会と分離し、一般からシニアまでの混合ダブルス大会を検討)
  - ③JOCジュニアオリンピックカップ大会/全日本ジュニア選手権大会
    - ・ダブルスとシングルスとを継続実施
  - ④全日本シングルス選手権大会(参加のための推薦基準についてシングルス成績を重視する)
  - ⑤日本スポーツマスターズの充実
    - ・3日間から2日間開催に変更を検討
  - ⑥大会参加申込のシステム化 ⑦主催大会開催地への支援 ⑧競技、審判、広報等大会運営マニュアルの活用 ⑨セッケンの着用 ⑩簡易得点板の設置 ⑪大会審判のワッペン着用の義務化 ⑫勝者審判制の導入を検討

### 3. 地域ソフトテニス大会開催

- (1)地域等における競技会開催に、補助を継続して行う。
  - ①9地区選手権大会 ②地区高校選抜大会 ③9地区中学選手権大会 ④全日本シニア東西対抗大会 ⑤全日本学生同好会大会
- (2)加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
  - ①地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成 ②支部小学生大会への補助 ③支部中学生大会への補助 ④ソフトテニス週間の実施
  - ⑤ソフトテニス愛好者増加対策
    - ・中学校活動引退後の練習場所を確保し、引退後もプレーできる環境を提供する。また、レディーズを含めた社会人を対象として支部が実施する愛好者増加対策事業を支援して推進する。
    - ・日本連盟で作成したDVD付き指導教本を活用して、愛好者増加に不可欠な指導者に指導スキルを授け、愛好者の指導に貢献、協力してもらう。
    - ・ソフトテニスの映画・漫画を活用してソフトテニスアピールし、愛好者の増加を図る。
    - ・映画「案山子とラケット」を非劇場(体育館、公民館等)で上映し、愛好者の増加を図る。
    - ・愛好者増加対策事業を実施している事例等の情報提供を行い、事業効果の促進を図る。
  - ⑥指導者バンク(地域)の活用促進 ⑦総合型地域スポーツクラブの研究 ⑧傷害補償制度の徹底

### 5. ソフトテニスの広報活動

- (1)メディア対策
  - ①新聞報道の充実 ②テレビ放映の充実 平成13年から継続し、平成27年より(60分)90分の放映となった全日本選手権大会のNHKテレビ放送を引き続き確保するとともに、より魅力的な番組になるよう情報提供を行っている。
- (2)ホームページの運営
  - ①ホームページ等の充実
- (3)広報誌発行
  - ①機関誌「ソフトテニス」の毎月発行 ②会員報の年2回発行 ③大会記録集の発行。
- (4)ソフトテニスの歌の活用
  - ・日本連盟主催事業での活用と全国各地域での普及を図る。
  - ・ソフトテニスの歌「ユニオンショット」とソフトテニス応援歌「青空背負って」の周知を図る。
- (5)ソフトテニスのアピールと周知
  - ・2015年に上映した映画「案山子とラケット」の今後の活用(公民館等を利用した地域域の上映、国際普及のための海外版作成等)を検討、実施していく。
  - ・漫画及び指導教本(DVD BOOK)についても、販売状況をフォローアップの上、さらに多くの読者に行きわたるよう創意工夫し、実行していく。
  - ・引続き当連盟のキャラクターであるうさぎの着ぐるみを小学生や中学生の大会等に登場させ、ソフトテニスを広くアピールする。
- (6)ソフトテニスの表彰・顕彰
  - ①国内関係表彰 ②国際大会入賞 ③特別功労者または団体 ④その他、特に必要と認められたもの

### 7. ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定

- ①名譽指導員の認定 ②技術等級の認定(大会実績、検定会)
- ③技術等級システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化の推進、また大会申し込みシステムとの連動により大会参加の資格をチェックする。

### 8. ソフトテニスの審判員資格認定

- ①マスターレフェリー・マスターアンパイヤー・1級・2級・ジュニア審判員の認定等 ②2級審判員研修資料の提供 ③平成26年度に作成した審判検定会・研修会での資料(パワーポイント)を活用し、講習内容の統一と審判員のさらなる資質向上を図る。 ④審判員バンクの創設及び派遣審判員の実施 ⑤審判技術DVDの活用 ⑥競技規則等の見直し等

### 9. ソフトテニス用具・用品、施設認定

- (1)愛好者・競技者が安全で快適にプレーができるよう用具・用品、施設の公認に關し、次の事業を行う。
  - ①新規公認・更新手続きの承認 ②ラケットの紙証、ネットの証書の発行等

## II. ソフトテニスの競技力向上事業

- 1. ソフトテニスの競技力向上、医学的調査
  - (1)競技力向上
    - \*世界No.1の実力の維持を旨とした競技力向上に關し、次の事業を実施する。
      - ①競技者育成プログラムの推進 ②日本代表チームの強化合宿 ③ナショナルチームの強化合宿 ④全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿 ⑤競技力向上のための海外遠征 ⑥強化スタッフの各種大会視察 ⑦競技力向上のための調査・研究 ⑧医学科学サポート体制作りの検討を図る
    - (2)医学的調査
      - ①各種フィットネスデータの分析、大会の振替および映像分析、戦術分析 ②国内大会でのトレーナーブスの設営 ③栄養調査・分析・指導 ④医学的調査報告書の作成・発行等
    - (3)アンチ・ドーピング
      - ①アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動(公財)日本アンチ・ドーピング機構と連携して以下の活動を行う。
        - ・ホームページや大会要項等への情報掲載
        - ・日本アンチ・ドーピング機構のアウト・リーチ活動(アンチ・ドーピングについて)
        - ・強化合宿、研修会等で強化選手への教育の実施
      - ②国内大会におけるドーピング検査の実施 ③国際連盟およびアジア連盟と連携してのアンチ・ドーピング活動を推進

## 2. ソフトテニスの指導者育成

- (1)指導者養成
  - ①指導者養成事業の推進
    - ・ソフトテニス競技の振興と競技力向上にあたる指導者の資質と指導力の向上、及びスポーツ指導活動の促進と指導体制の確立を図る事を目的に以下を行う。
      - ・指導者養成講習会および上級指導者養成講習会(各都道府県選派)を「公認スポーツ指導者養成マニュアル」を活用して積極的に実施。
      - ・新たに発行したDVD付き指導教本を基として、公認スポーツ指導者資格更新のための指導者研修を行い、一貫指導に向けた体制作りの強化を図る。
      - ・公認スポーツ指導者有資格者以外のソフトテニス指導者向けの指導に関する啓発を行う。
      - ・中・高等学校指導者育成のための方法を検討する。
      - ・共通理念に基づくジュニア層指導をより推進するため、現行の「ソフトテニス指導マニュアルジュニア編」の改訂に向けた取り組みを始める。
    - ②全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
      - ・小学生、中学生、高校生へのソフトテニス活動における課題の改善について検討する。
      - ・競技者育成プログラム(一貫指導システム)による競技力の向上
      - ・スポーツ活動を通しての環境保全ならびに青少年の健全育成と暴力根絶の徹底
      - ・指導教本・映画・漫画の活用による愛好者の増加対策等

## III. ソフトテニスの国際振興事業

- 1. ソフトテニスの国際振興
  - (1)国際普及活動の推進
    - ①国際組織(ISTF、ASTF)内での指導的立場に基づく国際性の向上
    - ②普及対象国への指導者、選手の派遣および普及対象の選手、指導者の日本での研修受け入れ
    - ③ジュニア、シニア等の交流促進
    - ④国際競技規則の整合性の推進
      - ・施設基準の共通化や肩から下でのカットサービスの禁止案の検討。
    - ⑤用具の提供、流通の促進
    - ⑥国際普及親善活動に結びつく、支部活動に対する「国際親善大会補助費」の助成
      - ・交流を目的とした大会開催または派遣等の活動を支援する。
      - ・国際都市親善・友好都市提携等の調査を行い、都市間交流によるソフトテニス普及を図る。
    - ⑦スポーツアコード等国際会議への積極的参加(継続)
    - ⑧国際指導体制、審判体制、アンチ・ドーピング活動等の充実
  - (2)国際大会の開催促進
    - ①第8回アジア選手権大会(2016年)の開催地運営支援 ②第3回世界ジュニア選手権大会(2017年)への開催の提案 ③第1回東アジアユース大会(2019年)開催の中華台北への支援 ④第18回アジア競技大会(2018年 インドネシア)への周知・招致活動 ⑤その他国際大会への支援
    - ⑥2020年東京オリンピックの開催に合わせ、日本の2大国際大会(世界ジュニア選手権大会、世界選手権大会)の実現に向けて準備を進めるとともに、関西ワールドマスターズカップ開催に向けての協力を行っている。

### 【各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策】

- I. 組織と財政の強化を推進する
  - 1. 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行うために、環境と教育に取組む。
    - ・ソフトテニスを通じて環境保全を図っていくとともに、自己責任及びフェアプレイの精神を身につけ、マナーを重んじる教育を推進し、青少年の健全育成を図っていく。
    - ・「環境宣言」「来た時よりも美しく」フェアプレイ宣言「ありがとう あなたの笑顔とそのマナー」の横断幕の日本連盟主催大会会場および各支部大会での掲示やプログラムへの掲載を行い、環境とマナーの向上を図る。
    - ①スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進 ②暴力根絶の徹底
  - 2. 会員登録制度の推進を図る。
    - ①会員の発行 ②登録状況の把握と改善等
  - 3. 長期基本計画2012の着実な計画の推進と次の長期基本計画を策定する。
    - ・東京オリンピックを見据え、ソフトテニスの国際普及・振興を図るため、長期的展望に立った長期計画を新たに策定し、2020年を良い機会として捉え、世界ジュニア選手権大会、世界選手権大会、関西ワールドマスターズカップと、このようなジュニアからシニアまでを対象にした3大大会を開催し、真に競技スポーツと生涯スポーツを併せ持つソフトテニスの祭典の日本での実現を目指す。またオリンピック参加の足掛かりとなる活動も総力をあげ、積極的に展開する。

## 平成28年度収支予算書(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

科 目		単 位:千円	科 目	予 算 額
1 事業活動収支の部		予 算 額	1. 3級普及大会費 1,400	
1. 事業活動収入			14.普及指導費 17,000	
(1) 基本財産運用収入	1,100		15.普及用具、教材費 3,500	
1. 基本財産運用収入	1,100		16.国際大会派遣費 3,900	
(2) 会費収入	300,280		17.障害補償金 2,000	
1. 支部分相金	7,500		18.免状手数料 15	
2. 会費収入	255,000		(2) 管理費支出 120,581	
3. 維持会費	37,780		1. 人件費 45,329	
(3) 事業収入	154,162		2. 会議費 14,000	
1. 大会参加料	28,962		3. 会員登録関係費 26,500	
2. 用具検定費	26,000		4. IT関係費 14,000	
3. 機関誌関係費	8,900		5. 一般管理費 20,752	
4. 技術等級認定料	6,000		(3) 加盟費支出 1,150	
5. 公認審判収入	66,240		1. 加盟費 1,150	
6. 出版物収入	18,060		(4) 他会計からの繰入金支出 0	
(4) 補助金等収入	76,168		1. 一般会計 0	
1. 補助金収入	76,168		2. 助成事業特別会計 0	
(5) 協賛金寄付金収入	28,550		3. 国際特別会計 0	
1. 協賛金	28,550		4. 障害補償制度特別会計 0	
2. 免状募金	500		5. 募金会計 0	
(6) 雑収入	4,071		(5) 国際大会積立金支出 10,000	
1. 受取利息収入	46		1. 国際大会積立金支出 10,000	
2. 広告料	1,820		事業活動収支差額 △15,809	
3. 雑収入	2,205		II 投資活動収支の部	
(7) 他会計からの繰入金収入 0			1. 投資活動収入 0	
1. 一般会計 0			投資活動収入計 0	
2. 募金会計 0			2. 投資活動支出	
事業活動収入計	564,631		(1) 職員退職積立金支出 1,500	
2. 事業活動支出			1. 職員退職積立金支出 1,500	
(1) 事業費支出	448,709		(2) 資産取得資金積立金支出 10,000	
1. 大会開催関係費	60,556		1. 資産取得資金積立金支出 10,000	
2. 地域大会補助費	4,200		投資活動支出計 11,500	
3. 地域クラブ育成費	70,320		投資活動収支差額 △11,500	
4. 広報活動費	43,400		III 財務活動収支の部	
5. 表彰費	12,500		1. 財務活動収入 0	
6. 技術等級関係費	1,335		財務活動収入計 0	
7. 公認審判関係費	22,850		2. 財務活動支出 0	
8. 用具施設証作成費	1,300		財務活動支出計 0	
9. 競技力向上費	165,818		財務活動収支差額 0	
10. 指導者育成事業費	7,000		IV 予備費支出 13,691	
11. 大会開催等関係費	24,565		当期収支差額 △41,000	
12. 日本スポーツマスターズ参加支援費	7,050		前期繰越収支差額 41,000	
			次期繰越収支差額 0	

(注) 1. 借入金限度額 100,000千円



## 平成28年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日程	29年度
主催大会	第23回全日本シングルス選手権大会	奈良県明日香村	5月14日(土)・15日(日)	中・四国
	男子第61回・女子第60回 全日本実業団選手権大会	愛媛県大洲市/今治市	7月29日(金)～31日(日)	福井県 福井市・越前市
	第33回全日本小学生選手権大会	山形県天童市	7月28日(木)～31日(日)	滋賀県長浜市
	第44回全日本社会人選手権大会	茨城県神栖市	9月3日(土)・4日(日)	九州
	第20回全日本シニア選手権大会	熊本県熊本市	9月9日(金)～11日(日)	北信越・東海
	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第23回全日本ジュニア選手権大会	広島県広島市	9月17日(土)・18日(日)	広島県広島市
	第71回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	山口県宇部市	10月21日(金)～23日(日)	群馬県前橋市
	第30回日本実業リーグ	広島県広島市	10月28日(金)～30日(日)	広島県広島市
	第23回全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	10月29日(土)・30日(日)	千葉県白子町
	第34回日本リーグ	愛知県豊田市	12月16日(金)～18日(日)	愛知県豊田市
	第62回全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	29年 1月29日(日)	大阪府大阪市
	日本リーグ入替戦	愛知県名古屋	29年 2月11日(土)・12日(日)	愛知県名古屋市
	スポーツ事業	第11回ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県宮崎市	11月25日(金)～28日(月)
第28回都道府県対抗全日本中学生大会		三重県伊勢市	29年 3月26日(日)～28日(火)	三重県伊勢市
第16回全国小学生大会		千葉県白子町	29年 3月29日(水)～31日(金)	千葉県白子町
共催大会	第45回ハイスクールジャパンカップ	北海道札幌市	6月23日(木)～26日(日)	北海道札幌市
	西日本シニア選手権大会	和歌山県和歌山市他	6月25日(土)・26日(日)	鳥取県鳥取市
	第71回東日本選手権大会	新潟県新潟市他	7月16日(土)・17日(日)	福島県福島市・ 会津若松市
	第70回西日本選手権大会	奈良県明日香村	7月16日(土)・17日(日)	鳥根県松江市他
	全日本高校選手権大会(女子)	岡山県備前市	7月28日(木)～31日(日)	福島県会津若松市
	全日本高校選手権大会(男子)	岡山県備前市	8月1日(月)～4日(木)	福島県会津若松市
	全日本学生選手権大会	福岡県北九州市他	8月4日(木)～11日(木)	
	第43回全日本レディース大会(個人戦)	北海道札幌市他	8月5日(金)～7日(日)	愛知県名古屋市他
	第47回全国中学校大会	石川県能登町	8月22日(月)～24日(水)	長崎県長崎市
	第38回全日本レディース決勝大会(団体戦)	宮城県仙台市	8月26日(金)～28日(日)	宮城県仙台市
	日本スポーツマスターズ2016	秋田県大館市	9月24日(土)～26日(月)	兵庫県
	第71回 国民体育大会	岩手県北上市	10月2日(日)～5日(水)	愛媛県今治市・ 大洲市
第42回全日本高校選抜大会	愛知県名古屋市	29年 3月28日(火)～30日(木)	愛知県名古屋市	
国際	第24回日・韓・中ジュニア交流競技大会	中国浙江省寧波市	8月23日(火)～29日(月)	日本
	第8回アジアソフトテニス選手権大会		～	
その他	第29回ねんりんピック2016	長崎県長崎市	10月15日(土)～17日(月)	秋田県

注1: 日本連盟推薦者を除く

## 平成27年度日本スポーツ振興センター助成事業一覧

下記の事業については、独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成を受けて実施いたします。

基金助成		くじ助成	
事業名	助成額(内示)	事業名	助成額(内示)
JOCジュニアオリンピックカップ大会/ 全日本ジュニア選手権	1,198,000	競技者育成プログラム(Step-1～Step-3)	49,210,000
天皇杯皇后杯全日本選手権	2,248,000	ドーピング検査	7,456,000
アジア選手権予選会	1,213,000		
全国小学生・中学生・高校生指導者研修会	1,382,000		
計	6,041,000	計	56,666,000
 <b>スポーツ振興基金</b> <small>独立行政法人日本スポーツ振興センター</small>		 <b>TOTO</b> <small>FOR ALL SPORTS OF JAPAN</small>	

## 平成27年度日本オリンピック委員会補助事業一覧

下記の事業については、公益財団法人日本オリンピック委員会の補助を受けて実施いたします。

事業名	補助額(内示)
選手強化事業	12,930,000